

社協だより

いずも

社会福祉法人
出雲市社会福祉協議会

IZUMO

つながる ひろがる
ささえあう

vol.

137

11月・
12月号

令和3年12月20日発行

特集

心に灯す 小さな火種

TOPIC!

みんなでつくる地域の支え合い

- ・各種表彰の受賞者紹介
- ・災害義援金のお知らせ
- ・心配ごと、悩みごと相談の中止について
- ・ご寄附ありがとうございます
- ・子どもの遊び場に対する助成
- ・歳末たすけあい運動月間のお知らせ
- ・フードドライブにご協力いただいた皆さまへ
- ・年末年始の休業のお知らせ

心に灯す小さな火種

まつうら
きぬこ
松浦 絹子さん

出雲市立第三中学校の生徒をはじめ子どもに関わる活動を長年
続けている松浦さん。「どんな人でもどんな活動でも平等・対等」
をモットーとした20年を超える活動についてお話をうかがいました。



「なんかおもしろいおばちゃん
になりたい」

当時PTA役員だった松浦さんがほっておけなかったのは思春期の少年少女たち。彼らに会うため度々学校の保健室に通い、とにかく否定しない声掛けを続けたそうです。「遅刻してもよく来たね」、金髪の子には「きれいな色ね」とか。一緒に話すうちにその子のいいところが見えてくるんです。何でも話せるなんかおもしろいおばちゃんになりたいと思っていました」と当時を振り返ります。「話をしていくと子ども達の生活環境や思いが分かってくるんです。たとえば夜中に遊び歩く子がいたんですが、実は遅くまで働く母親の代わりに小さな

きょうだいの育児をして、母親が帰宅してからやっと自由時間。そりゃ遊びたいよね、それでも登校してえらいね、と伝えていました。」

「あの子たちとやってみよう！」

「ボランティア」という言葉がまだはしりだった頃、子どものボランティア活動が掲載された小さな新聞記事が目に入り、「あの子たちと一緒にやってみよう！」と決意。当初は批判もある中、「でもやらなきゃ！」という気持ちが強かった松浦さん。高齢者施設や保育園での交流活動等を通し「えらいね」「ありがとう」とほめてもらい、乗り気でなかった子どもも活動を楽しむにするほ





▼川跡交番に花を植える活動



▲街頭募金活動

ど変化が。「そんな彼らも今では地域で働く人となり、親としても奮闘しています。そんな姿を見るととてもうれいすね」と思いをはせます。どこまでも生徒の心に寄り添う松浦さん。大人になった彼らに街で声を掛けられることもあり幸せを感じるそうです。

現在は学校をあげてボランティア活動に取り組む、赤い羽根共同募金等の募金活動も行う生徒たち。「自分たちの呼びかけに応えてもらえたことや困っている人の役に立つという経験が子ども達の心を育み、郷土への愛着につながると思っています。福祉教育はふるさと教育でもあるんです」と話します。他にも、子ども達と一緒に交番の花苗植えや車いす体験等をし、「車いす体験は身近な障がいを知るチャンス。知っているか知らないかで人生が変わると思うんです。困っている人の目線

に立って、人のために動ける大人になってもらいたい。子どもたちの心にその火種を灯すことが私達の役目ですね」と活動への想いを語ります。

原動力は亡きわが子への愛情

様々な活動を始めたきっかけについて、「始まりは亡きわが子への想いが原動力。53日しか生きられなかった娘から、お母さん、私の分までがんばって」と背中を押され続け、今があります。あの経験がなければ今の私はいません」と話します。お子さんへの想いを力に「障がいのある子を育てるお母さん達が集い、誰でも気兼ねなく泣いて、お互いの姿に学んでほしい」と一念発起し、おもちゃ図書館の活動に参加。資金調達には自ら汗を流し並々ならぬ努力をされたそうです。また、PTA活動や四絡地区での親子の居場所づくり、出雲市駅周辺に花を植える活動等多くの取組をけん引してきた松浦さん。後進が育てばリーダーを任せ、年長者として愛を持って見守っているそう。朗らかに活動する松浦さんの周りにはいつも心強い仲間が。「たくさんの活動を仲間と分かち合い、楽しみながら深い絆でつながることができました」と話します。

「どんな人でもどんな活動でも平等であり対等であることを根本に取り組んできました。これまでを振り返ると未練はあるけれど、わが人生に悔いなし！ですね」とあふれんばかりの笑顔で語る松浦さん。今日も子どもたちの心に小さな火種を灯し続けます。





みんなで作る地域の支え合い

出雲市では、たすけあい活動を行う団体が活躍しています。

たすけあい活動とは、掃除や買い物などちょっとした困りごとを抱えた方に、地域住民である協力者が有償で援助する互助活動です。利用する方が遠慮せず依頼できるよう、また、継続的に活動できるように有償のかたちをとっています。

市内では17の団体が活動しています。このうち3団体のみなさんにお話をうかがいました。

NPO法人たすけあい平田

- 活動地域：平田及び出雲・大社・斐川の一部
- 活動内容：家事、通院外出介助、移送サービス、草刈り等
- 問合せ先：☎62-0257
FAX62-0258

出雲医療生活協同組合 有償ボランティア「虹」

- 活動地域：出雲・佐田・多伎・湖陵・大社（平田・斐川は要相談）
- 活動内容：受診支援、掃除、草取り、庭木の剪定等
- 問合せ先：☎31-9781
FAX23-7376

かみつお助けマン互助会

- 活動地域：上津地区内
- 活動内容：草刈り、買い物、通院付添、墓掃除等
- 問合せ先：☎090-1016-8742
FAX48-0352



たすけあい平田 熊谷 美和子さん

—設立のきっかけは？

縁もゆかりもない未知のまちに住んで友人と助け合ううちに、「困った時はおたがいさま」だと身をもって感じました。でも、実際にはお願いするのに気を遣ったり、相手の時間に合わせないといけなかったりしますよね。ちょっとした困りごとを自分の都合でお願いできる組織があれば…住民参加で助けたり助けられたりができれば…と考えたのが発端です。多くの協力者に恵まれて設立の運びとなりました。地域から課題を見つけては解決を繰り返し、事業を広げて、特に移送サービスは皆さんに喜んでいただいています。

—コロナ禍での活動の様子は？

人と人との交流が制限され、思うような活動ができませんでした。私たちにとって一番大事な部分に制約を受けてしまって…。この秋以降は少しずつ利用が増え、これまでのような活動ができる日が戻ってきました。

—活動の励みは？

皆さんからの「ありがとう」の言葉に励まされ、押し出され今日までやってきました。以前、看取りまで支援した方がおられ、遠くで暮らす息子さんから「家族ができないことをよくここまでやってくださった」と言っていただきました。1人ひとりができることを集めれば大きな力になるんだと実感し活動の糧となっています。相手に喜ばれ、自分も気持ちがいいというのが一番ですね。

—今後の活動に向けて

これまで地域に不足するサービス作りを「地域が喜ぶならやろう!」という気持ちで奮起してきました。今、新たな取組として集いの場づくりをスタートしたところで、誰もが気兼ねなく来られる居場所にしたいと思っています。

何と言っても人に恵まれて今のたすけあい平田があります。これからも「心」で動くメンバーと共に地域のために動いていきたいですね。





有償ボランティア「虹」 稲村 正志さん

—設立のきっかけは？

2010年頃、全国の医療生活協同組合で介護事業や生活支援ボランティアの論議や実践が活発になりました。当法人でも組合員の方の多くが高齢者で、「組合員同士の助け合い」への機運が高まり設立に至りました。「虹」の特徴としては、法人の病院や診療所を退職した元看護師や元介護職員が受診支援等に対応できていることです。また、造園や大工経験者の協力により、掃除等の生活支援に加え庭木の剪定や軽微な家屋修繕にも対応し皆さんに喜ばれています。

—コロナ禍での活動の様子は？

残念ながら受診支援以外の活動を中止せざるをえませんでした。そのことから「暮らし・つながり訪問」と銘

うち過去4年間に「虹」を利用された方のうち昨年は32名、今年は37名の方を訪問し対話しました。コロナ禍で人との交流が制限され不安が多いなかでも懸命に生活しておられる姿に敬服しました。“何かあったらお気軽にご相談ください”とのメッセージを届け、多くの方に訪問を歓迎され、つながりの大切さも実感できました。

—活動の励みは？

依頼者の皆さんからの「ありがとう」の言葉ですね。私たちは専門業者ではないので依頼に全て応えられるわけではありません。それでも、皆さんの気持ちに寄り添い、より良い方法を一緒に考え、誠意を尽くすことで依頼された方が納得して課題を解決できれば、前向きな生活づくりにつながります。それは支援者にとっても大きな喜びです。

—今後の活動に向けて

「虹」の支援者の大半は当生協や福祉関係の退職者で、エッセンシャルワークを経験しているため、依頼者に寄り添い、人権を大切にすることが身に付いている方が多いです。しかし、今の日本の「自己責任論」の渦中で、ボランティアの思いを広げさらに文化として育む上では、もっともっと支援者同士の話し合いや育ちあいが必要だと思っています。今まで依頼者中心で考えてきましたが、今後はもっと支援者同士が育ちあうために改めて支援者同士で相談し、改善する運営を目指したいと思います。



かみつお助けマン互助会
左から 榎原 政治さん・嘉本 甫さん
曾田 和男さん

—設立のきっかけは？

上津地区の過疎化が進み、高齢者世帯が増えつつある状況で生活応援組織の立ち上げが急務であると感じていました。「難しいだない？」との声もありましたが、「やらないけん！」と皆で立ち上がり、地区内の諸団体の協力もあって今日に至りました。主な依頼は草刈りや植込みの手入れ等ですね。私たちの活動は上津地区限定ですが、繁忙期にはカレンダーが毎日埋まるほどの依頼も…皆さんに頼りにしてもらっているんだとの思いで動いています。

—コロナ禍での活動の様子は？

依頼のほとんどが外仕事ということもあり、変わらず毎日のように活動しました。もちろん、体調不良の人には自粛してもらい、1人ひとりが最善の注意を払いながら対応したことで、利用者さんにも安心していただけたと感じます。

—活動の励みは？

利用者さんからの喜びと感謝の声がありがたいですね。顔なじみであることがかみつお助けマンのいいところで、お茶を飲みながら昔話に花を咲かせることもあります。皆さんにとっても、私たちにとってもそれが楽しみになっています。

—今後の活動に向けて

活動の担い手のほとんどが70歳以上の高齢者なので、会を継続させるためにも後継者の育成が急務となっています。まずは私たちの活動を認めてもらい、地域に浸透させる必要があるので、コロナ禍が明ければ皆が集まって笑い合える交流会を再開したいですね。今後も、地区内の隅々まで私たちの想いが浸透し、地区全体で盛り上げていくために活動を続けていきます。



各種表彰の受賞者紹介

◆ 全国社会福祉協議会会長表彰

民生・児童委員功労 **山本 達男**さん

鱒淵地区民生委員児童委員協議会会長・出雲市民生委員児童委員協議会理事

◆ 島根県各種功労者表彰

永年にわたり福祉分野で活躍し、社会福祉の推進に尽力された方々が表彰されました。

飯塚 勉さん

佐田地区民生委員児童委員協議会会長・出雲市民生委員児童委員協議会会長

サークル「ありんこ」

平成13年に出雲圏域の「難病患者・家族の会」を支えるボランティアグループとして設立。

総会・学習会の準備や患者の介助、外出の付添いや患者同士の交流会等を行われています。

10年にわたり難病患者やその家族の心に寄り添った功績が認められました。

◆ 島根県共同募金会会長表彰

優良地区・団体：共同募金運動推進のため率先して活動を行い、その功績が顕著な地区・団体

A+BesT様

地域の方々から提供された古本やDVD等の買取金を寄附し、児童養護施設等の子どもたちの進学や就職を支援する「赤い羽根古本みらいプロジェクト」の協力店として活動されています。

※前号に掲載すべきところ本号での掲載となりました。お詫び申し上げます。

災害義援金のお知らせ

名 称	募 集 期 間
平成30年7月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 2,083,835円)	令和4年6月30日まで ※岡山県、広島県、愛媛県
令和2年7月豪雨災害義援金 (これまでの送金額 1,214,183円)	令和4年3月31日まで ※福岡県、熊本県
令和3年7月大雨災害義援金 (これまでの送金額 65,248円)	令和3年12月28日まで ※広島県
令和3年7月島根県大雨災害義援金 (最終送金累計額 168,755円)	受付終了
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	令和3年12月28日まで ※青森県
令和3年8月大雨災害義援金	令和4年3月31日まで ※福岡県、佐賀県、長崎県、 広島県、長野県
令和3年8月島根県大雨災害義援金 (最終送金累計額 34,472円)	受付終了
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	令和4年3月31日まで

あたたかいご支援
ありがとうございます。



日本赤十字キャラクター

ハートちゃん

※送金額は11月10日
現在です。

「令和3年7月島根県大雨災害義援金」第1次配分の決定について

令和3年7月の大雨災害により被災された島根県内の方々を支援するために募集した義援金について「令和3年7月島根県大雨災害義援金」配分委員会が開催され、出雲市へは10,450,000円が配分されました。この義援金は出雲市を通じ被災されたの方々へ届けられます。

問合せ先／日本赤十字社島根県支部出雲市地区 (事務局 出雲市社会福祉協議会 本所・各支所)

心配ごと、悩みごと相談の中止について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため当面の間、一般相談は中止します。仕事のこと、生活のことなどの困りごとについて、随時、職員が相談に応じます。

また、オンライン福祉相談も行っております。ご自宅からオンラインで対面相談ができますので、詳しくはホームページをご覧ください

問合せ先／生活支援課 ☎23-3790



ご寄附 ありがとうございます

令和3年9月11日～11月10日受付分（敬称略）

*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄付

<団体>

島根県年金受給者協会斐川支会女性部（グラウンドゴルフ大会のホールインワン募金として）

島根県年金受給者協会斐川支会 代表 植田邦夫（グラウンドゴルフ大会のホールインワン募金として）

出西地区寿昌クラブ 会長 黒田邦宏（出西地区寿昌クラブグラウンドゴルフ大会のホールインワン募金として）

見舞返し

<平田>

十六島町 渡部 幸子
十六島町 渡部 利明

香典・玉串料・お花料等返し

（ ）内は故人

<出雲>

今市町 伊藤 重夫(美知子)
今市町 伊藤 堅志(恵子)
笠取町 吾郷 清子(佳男)
笠取町 嘉藤 晴司(勇)
大津町 畑原 明(カヅ工)
松崎町 佐貫 弘(ナミ子)
浜 町 井上 美穂子(幸雄)
矢尾町 三成 明(次郎)
常松町 重栖 良豊(安子)
稲岡町 村尾 朋彦(幸彦)
稲岡町 矢田 由利子(イキヨ・真土)
東林木町 太田 博美(義隆)

東林木町 森山 貴宏(文雄)
宇那手町 飯塚 文夫(喜子)
馬木町 鳥屋尾 健志(強志)
馬木町 三島 真紀子(武田 幸子)
乙立町 今岡 余一良(トシ子)
下古志町 嘉儀 稔(知泰)
知井宮町 星野 まり子(中尾 一郎)
西新町 岩崎 博司(和子)
神西新町 林 祐芳(智恵子)
荒茅町 曾田 浩治(静子)
荒茅町 曾田 修一(幸子)

<平田>

平田町 佐藤 秀典(京子)
平田町 原 敬一(孝人)
平田町 佐藤 邦夫(益夫)
平田町 持田 真二(繁幸)
平田町 坂本 幸子(柘植 美恵子)
平田町 加納 隆行(吉野)
平田町 河原 誠(睦子)
平田町 浅野 孝子(土江 安代)
灘分町 小村 盛信(君江)
島村町 佐藤 雅美(繁)
口宇賀町 安住 公子(文雄)
西郷町 渡部 賢司(幹夫)
本庄町 勝部 洋(幸子)
奥宇賀町 足立 健(紀代子)
河下町 原 千恵子(岩夫)
東福町 遠藤 勉(芳子)
東福町 平野 みさえ(良吉)
岡田町 米澤 雅子(博)
岡田町 長岡 義彦(和枝)
多久谷町 桑原 美恵子(寿弘)
多久町 清水 智(梶子)
園 町 坂本 操(祥子)
園 町 田中 広三(孝市)
園 町 角 秀子(守)

鹿園寺町 長崎 幸男(路子)
小境町 梶谷 智(忠男)
小境町 堀内 政己(功)
十六島町 渡部 福満(幸子)
十六島町 南木 正人(サヤ子)
十六島町 小澤 篤裕(昌則)
十六島町 吉川 詳敬(マツ子)
三津町 遠藤 敏彦(清志)
小伊津町 青山 清則(頼子)
小伊津町 金築 瑞枝(秋好)
野郷町 吉岡 稔(芳子)

<佐田>

大 呂 渡部 美紀子(智栄子)
大 呂 吉田 真(稔)
一窪田 田原 光晴(艶子)
一窪田 山本 祐司(静香)

<多伎>

奥田儀 川上 敦子(晃司)
奥田儀 伊藤 義明(京子)
口田儀 川上 真理子(晴夫)
小 田 反田 博(錦織 幸三)
小 田 森山 宏美(梶枝)
小 田 山本 義浩(高義)
小 田 森山 茂(春江)
多 岐 安井 富枝(綾子)
久 村 福庭 茂雄(豊實)
久 村 秋山 隆志(征寛)

<湖陵>

二 部 本田 正明(泰子)
大 池 原田 啓一(武)
大 池 三原 満子(國恵)
差 海 桑原 聡(ミサ子)

<大社>

入 南 手銭 憲(運一)
中荒木 持田 幸樹(良作)
北荒木 川上 満男(敏子)
北荒木 山崎 文寛(八重子)
北荒木 小村 知久(修治)
杵築東 岡垣 雪枝(治雄)
杵築南 岡田 賢次郎(喜八郎)
杵築南 山崎 令子(初枝)
杵築西 藤間 文子(勲)
杵築西 松井 美弘(キナ)
杵築北 原 邦子(政弘)
杵築北 津戸 誠(弘子)
日御碕 春日 英雄(八重子)
宇 龍 中出 嘉光(博康)

<斐川>

学 頭 小嶋 よしえ(恒好)
荘 原 岡田 育子(治義・久枝)
荘 原 原 哲也(昇)
荘 原 長澤 茂(春實)
荘 原 瀬崎 泰宏(千年)
神 庭 岡 貴広(富久)
上庄原 飯塚 隆(美代子)
出 西 長瀬 和(シナヲ)
直 江 深津 玲子(三代 俊夫)
福 富 遠藤 正(米子)
黒 目 錦織 充宏(敏夫)
坂 田 曾田 良廣(ワサ子)

匿名寄付

10件

ご寄贈

渡橋町 青木 良夫

皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

●出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】出雲市にお住まいの方が本会へ50,000円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

〔1〕所得税 (50,000円 - 2,000円) × 40% = 19,200円

〔2〕住民税 (50,000円 - 2,000円) × 10% = 4,800円

〔1〕 + 〔2〕 = 24,000円 …… 税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

●「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



子どもの遊び場に対する助成

子どもが安心して遊べる環境づくりのため、遊具（健康遊具を含む）などの新設や補修にかかる費用の一部を地区社会福祉協議会へ助成します。
（皆様からご協力いただいた会費、寄附金、赤い羽根共同募金を活用します。）

助成金額：遊び場の新設または補修 1地区上限20万円（8割助成）

- 下記のいずれかに該当する場合は助成対象としません。
 - ・ 行政機関、営利を目的とする団体、個人が設置あるいは管理する遊園地
 - ・ 固定式でない遊具または設備
 - ・ 同一の助成申請内容で複数年にわたるもの



出西地区 千家児童遊園地

《申し込み方法》

令和4年1月14日（金）までに、お住まいの地域の地区社会福祉協議会にご連絡ください。

歳末たすけあい運動月間のお知らせ

歳末たすけあい運動は、赤い羽根共同募金運動のひとつとして毎年12月に実施されています。

皆さまから寄せられた募金は、出雲市内の高齢者や障がいのある方、子どもたちなど支援を必要とする方があたたかいお正月を迎えられるようにと、家屋の小修繕や年越しそばの配食などさまざまな活動に使われています。ご協力ありがとうございます。



フードドライブにご協力いただいた皆さまへ

新型コロナウイルスの影響により生活にお困りの方に対して食品・日用品の提供を行いました。

市民・企業・団体の皆さまから多数のご寄附をいただき、多くの方にあたたかい気持ちを届けることができました。ありがとうございました。

今後もこのような取組が市内各地に広がるよう活動を続けてまいります。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

年末年始の休業のお知らせ

12月29日(水)～
1月3日(月)まで
休業します。



出雲市社会福祉協議会連絡先

〈窓口対応〉 平日 8:30～17:15



本 所 / 〒693-0001 出雲市今市町543 ☒ fukushi@izumoshakyo.jp ホームページ <https://www.izumoshakyo.jp/>
 本 所 / ☎23-3781 FAX20-7733 平田支所 / ☎63-4624 FAX63-5011 佐田支所 / ☎84-0131 FAX84-9034
 多伎支所 / ☎86-2331 FAX86-2351 湖陵支所 / ☎43-2310 FAX43-2226 大社支所 / ☎53-3196 FAX53-6053
 斐川支所 / ☎73-9330 FAX72-4068

いずも権利擁護センター ☎25-0955 FAX20-7733 生活支援課 ☎23-3790 FAX20-7733

高齢者あんしん支援センター

出 雲 / ☎25-0707 FAX25-0901 平 田 / ☎63-8200 FAX63-5011 佐 田 / ☎84-0019 FAX84-9034
 多 伎 / ☎86-7122 FAX86-2351 湖 陵 / ☎43-7611 FAX43-2226 大 社 / ☎53-3232 FAX53-6053
 斐 川 / ☎73-9125 FAX72-4068

